

あとがき

本「自己点検・評価報告書（京都大学農学研究科/農学部の現状と課題Ⅶ）」の作成にあたっては、前回（同現状と課題Ⅵ、平成23年12月）と同じ15章構成とし、今対象期間における取り組みや実績が比較できるように配慮した。また前回外部評価でいただいた意見に対する回答や対応も各章に加えた。

自己点検・評価は、当該期間の最終年度中に行う場合がある。しかし今回は、より正確な自己点検・評価をめざし、対象とする平成23～25年度のすべてのデータや調査結果を得た後、それをもとに平成26年度に実施するという方針で臨んだ。

本報告書の作成にあたっては、平成25年度に研究科運営会議で作業部会を編成し、平成26年夏の完成をめざして執筆作業を進めた。構成としては、独立行政法人大学評価・学位授与機構が行う認証評価の基準をもとに前回の自己評価・点検で設定された大観点にそれぞれ一章をあて、各節で状況説明、分析評および根拠となる資料一覧を記載するまとめ方を採用した。アンケート調査やデータ収集・整理に時間を要し、結果として完成が予定をより遅れてしまったが、作業部会のメンバーと関係事務スタッフの労苦と甚大な協力の下、公表出版にこぎ着けることができた。作成に携わった方々にお礼を申し上げる。

本「自己点検・評価報告書」は京都大学農学研究科/農学部の教育、研究、運営、社会・国際貢献等の諸活動が、本学の掲げる「理念・目標」に沿ったものであるか、また「第2期（平成22年度～27年度）中期目標・中期計画及び行動計画」を達成する上で効果的に機能しているかを確認する材料を提供するものである。加えて、「はじめに」で記したように最近の国立大学および京都大学の変革の動きの中で、今後の進むべき方向や取り組むべき課題を明確にし、よりよい教育研究とそれを実現できる体制を構築することに役立てたいと考えている。

農学研究科/農学部の構成員の皆様には尚いっそうのご尽力、ご協力をお願いしたい。

自己点検・評価作業部会を代表して
宮川 恒

平成26年度自己評価・点検作業部会名簿

研究科長・学部長	宮川 恒
副研究科長	縄田 栄治

副研究科長	天野 洋
副研究科長	松井 徹
農学研究科等事務長	大塚 正人
同 副事務長	奥村 晃弘
同 事務長補佐	大西 俊隆
北部構内教務・図書課長	小西 昌宏

協力

農学専攻長	米森 敬三
森林科学専攻長	高部 圭司
応用生命科学専攻長	三芳 秀人
応用生物科学専攻長	祝前 博明
地域環境科学専攻長	近藤 直
生物資源経済学専攻長	伊藤 順一
食品生物科学専攻長	谷 史人
附属農場長	富永 達
附属牧場長	廣岡 博之

北部構内教務・図書課

大学院教務掛長	森 忠
同 学部教務掛長	尾田 直之
同 現:理学研究科図書掛長	土山 賀子
同 総務課課長補佐	大野 広道
同 第二総務人事掛長	野口 貴史
同 管理課長	山口 悟
同 管理課課長補佐	岡田 健志
同 第二予算・決算掛長	大槻 博也
同 研究推進掛長	奥村 和彦
同 施設安全課課長補佐	速水 徹
同 施設掛長	大石 徹